

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

学校は疲れるよ、お母さん!

～先輩のお母さんから
後輩のお母さんへの^{エール}声援～

立科町教育相談員 岩上起美男

以前、定期的に教育相談を続けていた
或る母親から、今春、久しぶりに連絡を
いただき、その頃の思いやその後のこと
をお聴きする機会がありました。

当時を振り返って、その方が次のよう
に語ってくれました。これは先輩のお母
さんから後輩のお母さんへの声援^{エール}ではな
いか、と感じながら、長女の苦しい中学
生時代を支え続けた母親のお話に聴き入
りました。

娘のA子が、中学校に入学してからし
ばらくして、ぼそっと、「学校は疲れる
よ、お母さん!」と言いました。

同じクラスの何人かの女子生徒が、先
生方の目の届かないところで、また、遊
びを装^{まも}って、ターゲット(標的^{ひょうてき})の生徒
を変えながら、聞こえよがしに悪口を
言ったり、からかったりして、苛^{いら}々した
感情をぶつけていたのだそうです。

A子は、そのような行為を目の当たり
にしますと、とても嫌^{いや}な気持ちになっ
たようです。そのため、必死にその渦^{うず}に巻^ま
き込まれないようにしていました。しか
し、教室という狭^{せま}い生活空間で常にそう
気を遣^{つか}うことによって、心も体も緊張^{きんじょう}
し、次第に心身の疲労とストレスを覚えるよ
うになりました。

しかしながら、人が嫌がることを執拗^{しつよう}

に繰り返す生徒を注意する気には、とて
もなれなかったそうです。言っても聞き
入れるどころか、自分が次のターゲット
になってしまうと感じていたからです。
大人は、勇気^{ゆうき}を出して注意しようとか、
もっと強くなれとか、簡単(?)に言い
ますが、このような状況における子ども
の絶望^{ぜつぼう}的な心理を分かっているのでは
ないでしょうか。

後で知ったことですが、A子は、これ
らのいじめ行為を学級担任の先生に相談
する気持ちにもなれなかったようです。
先生に話しても、決して解決には至らな
いと察^{さつ}していたからです。A子には、先
生は何人かの生徒が醸^かみ出し出す荒^あんだ雰^{ふん}囲^い
気に流^{なが}されている、と見えたのです。

なのに、私はA子に、「そんなに疲れ
るなら、先生に話して、先生から指導し
てもらいなさい。」と言いました。

「疲れる」という何気ない子ども^この言
葉の底に、どれほど重く、深刻な苦しみ
や切なさ、怒り、哀^あしみが横たわってい
たのか、理解できなかつたのです。

なぜ、あのとき、あんな通り一遍^{いっぺん}の助
言をしたのか……。

おそらく、当時、仕事を続けることに
精一杯で、気持ちの余裕もなく、私自身
も疲れ切っていたために、A子の悩みを
親身に受け止めることができなかつたの
だと思えます。母親である私に、A子を

支えるエネルギーがなく、A子が母親に
求めたエネルギーを与えることができな
かつたのです。

さらに、A子はこのような対人関係の
問題は自分で乗り越えられる子、と心の
どこかで樂觀^{らっかん}視^ししていたことも一因^{いん}のよ
うに思います。

あのとき、A子が発した「SOS」を
敏感^{びんかん}にキャッチして、素早^{すばや}く対応できな
かつたことは、母親として悔^くいても悔や
みきれません。このとき、A子に起こっ
ていたこの大変さに気づいていれば、
後に降りかかってきた苦難^{くなん}は、多少なり
とも異なる状況に向^むいていたかも知れな
いからです。

それから間もなくして、A子もター
ゲットになってしまい、教室に入ること
ができなくなり、保健室で過ごすことが
多くなりました。そして、中学校の登校
日数の半分以上を欠席しました。

